

政策提言書

文教経済委員会

政策提言（概要）	
高山市観光振興ビジョン（仮称）の策定について	観光行政を総合行政として捉え、観光振興策の中長期的取組から見る総合体系を構築し、将来像を見据えた新たな戦略としての高山市観光振興ビジョン（仮称）を策定するよう提言する。

項目	内容
背景	<p>地方にとっての観光産業は、公共投資に代わる地方経済振興策として重要な位置づけであり、高山市の産業構造からみても観光依存度は高い。また当市の観光消費額の経済波及効果は 2.18 倍であり、高山市全体の GDP に大きな影響を与えている。</p> <p>しかしながら、観光客入込数および観光消費額は減少傾向にあり、観光行政は明らかに転換期を迎えている。</p> <p>観光事業は、多くの産業分野にそれぞれ深いかかわりを持っており、これからの観光行政は総合行政的視野が必要となる。観光振興策の中長期的取組から見る総合体系が必要であり、将来像を見据えた新たな展望と戦略が求められている。</p>
目的	<p>①観光振興を地域経済活性化の中心的柱の一本とする確固たる意思を表明する。</p> <p>②信条・理念を掲げ、観光の将来像を明示する。</p> <p>③観光振興策の総合体系を明確にし、戦略性を向上させる。</p> <p>④市民との意識共有により、高山ブランドを確立・維持・発展させる。</p>
基本的方向	<p>「高山市観光振興ビジョン」（仮称）の策定</p> <p>（目的）</p> <ul style="list-style-type: none">・信条・理念を掲げ、将来像を明示する・総合体系を明確化し、戦略性を向上させる <p>※ 民間との意識共有と協働を進める</p> <p>（ビジョンの目標と視点）</p> <p>（1）高山ブランドの確立・維持・発展</p> <ul style="list-style-type: none">・地産地消を推進・宿泊客および日帰り客消費額を増加・景観の保全と再発見・観光行政から見る商業政策と都市計画の展開 <p>（2）情報伝達力の強化</p> <ul style="list-style-type: none">・誘客のための発信力強化・来訪者のための提供力強化 <p>《特記要望事項》世界的に爆発的な広がりを見せる高機能携帯機器への対応が必要である。高山の実情に則したシステムと魅力</p>

	<p>あるコンテンツの開発・活用および周知について、民間発注も含む研究と推進を図り、運営管理体制についても民間会社への委託の研究を進めるなど、特に早急に取り組まれない。</p> <p>(3) 観光事業を総合運営する民間会社の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光消費額を増加させ、稼げる観光への民間力の活用 ・「まちづくり会社」の見直しと再生 <p>〈視点を推進する手法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ビジョン策定インフラとしてのデータ収集と分析 ※戦略性の向上と外部の視点活用（委託・発注など）
<p>財政の見通し等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ビジョン策定インフラとしてのデータ収集と分析にかかる経費や外部視点の活用に要する経費 ○職員体制の充実にかかる経費 ○「まちづくり会社」の見直しと再生にかかる経費 ○高機能携帯機器向けのコンテンツ拡充等にかかる経費
<p>その他</p>	<p>「高山市観光振興ビジョン」（仮称）策定にあたっての留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会など民間との協働により進める ・策定にあたっての職員体制などの充実